

令和元年東日本台風

土砂災害に対する警戒避難の効果事例

河川砂防課

消防団の声かけにより人的被害が発生しなかった事例（ときがわ町）

- 土砂災害警戒情報の発表と同時に、避難準備・高齢者等避難開始を発令。（4,734世帯、11,109人）
- ときがわ消防団が町内全域に声かけを実施。
「台風が接近しています。高齢者の方や避難に時間を要する方は、避難を開始してください。その他の方も危険を感じたら避難してください。外に出ることが危険な場合は、自宅の安全な場所に移動してください。」
- がけ崩れや浸水被害による孤立が生じたが、人的被害はゼロ。



ときがわ町

【経緯】 令和元年10月12日（土）

- AM08:30 県が土砂災害警戒情報を発表
町が避難準備・高齢者等避難開始発令
- AM11:30 町が避難勧告発令
- PM03:30 気象庁が大雨特別警報発表
町が避難指示（緊急）発令
- PM09:00 避難者数が最大（709名）
土砂災害が町内各地で発生



地すべり（大附地内）

確実な避難により孤立を逃れた事例（美里町）

- 町に土砂災害警戒情報が発表されたため、土砂災害警戒区域に係る地域住民に対し避難勧告を発令。
- 地域住民は、地区の図上訓練に参加し、自宅周辺の土砂災害警戒区域等を把握していたため、自ら避難を開始。
- 避難後に避難路を塞ぐ形で急傾斜地の崩壊が発生。



美里町

【経緯】 令和元年10月12日（土）

- PM01:00 県が土砂災害警戒情報を発表
町が避難勧告を発令
- PM05:10 気象庁が大雨特別警報発表
- PM06:40頃 避難所へ移動開始
- PM07:00 避難所到着
- PM10:00頃 **避難路を塞ぐ形で急傾斜地が崩壊**



がけ崩れ（白石地内）



最後は逃げるが勝ちだトン！